

札幌南税務連絡協議会会長賞

震災から学んだ税金

千歳市立富丘中学校 3年 林 明奈

たまたまつけていたテレビに東日本大震災の映像が流れていました。東日本大震災についての記憶は、幼かったためほとんどありませんが怖かったということは覚えています。それに、学校の授業で何度か耳にしたくらいでありあまり詳しくは知らなかったのので、その番組を見ていました。すると、小学生のときに体験した胆振東部地震よりもはるかに被害が大きいとすぐに感じました。長時間にわたる揺れ、家屋の倒壊、津波、福島県での原発。この地震がどれだけ最悪な地震だったのかがよくわかりました。私はこの番組を見終わったあと震災後どのようにして復興していったのか気になり調べました。

私は最初に住宅や病院、学校などの施設、道路の復興状況、産業について調べました。今年の四月時点で原発避難からの帰還者向けを除いた災害公営住宅は一〇〇%で、このほとんどは税金によるものなのです。また、病院や学校、道路も税金により復興しました。産業では再開可能、または再開しています。これらのお金は主に増税などからのお金なのです。この間も一部のものが値上げして嫌だな、だとかまたか、とっていました。しかし、増税をする理由を理解し震災の復興にも使われていることを知ってからは、税は誰かをつなぐことができる、災害の復興に貢献できると思えて、自然と嬉しい気持ちになります。しばらく復興の税について調べていると、復興予算流用問題という記事が目飛び込んできたので調べました。

当時、被災地の復興のため増税をしたにも関わらず、被災地とは全く関係の無いことに流用したそうです。復興二年目の二〇一二年では復興予算四兆円近くが集められたのに半分の約二兆円が流用されたと聞きます。例えば、被災地を優先するべきなのにも関わらず国会議事堂など国家機関のリフォームに使われたこと、被災地の国立大学の修復も復興予算が当てられたようですが、全国の大学に当てられた分のたった八分の一しか使われず、ほとんどは被災地ではない大学に使われました。私はあまり政治について詳しくはわかりませんし、子どもなんか政治の話に口出しするなと思う人もいます。しかし、これは、「復興のため」という表面上の言葉で復興に前向きな国民たちを裏切っていると思えて複雑な気持ちになりました。再び流用されることは絶対にあってはならないことです。

私は東日本大震災を通して税の大切さや災害とのつながりを知ることができました。他の税については、これから公民の授業で学習するので、私も一人の国民として恥ずかしくならないように税についての知識を得たいです。